

会 議 録

会議の名称	第9期小金井市地域自立支援協議会（1月期）合同部会
事務局	福祉保健部 自立生活支援課、小金井市障害者地域自立生活支援センター
開催日時	令和7年1月23日（木） 午後7時25分から午後7時40分まで
開催場所	前原暫定集会施設 A会議室
出席者	<p>【委員】 室岡利明委員（会長、社会参加・就労支援部会長）、佐々木宣子委員（相談支援部会長）、浅野貴博委員（障害者支援施設検討部会長）、戸田重央委員（社会参加・就労支援部会委員）</p> <p>【事務局】 自立生活支援課長 自立生活支援課障害福祉係長 自立生活支援課相談支援係長 小金井市障害者地域自立生活支援センター</p>
会議内容	第9期小金井市地域自立支援協議会（1月期）合同部会 会議録のとおり

第9期小金井市地域自立支援協議会（1月期）合同部会 会議録

（会長）

ただ今から、小金井市地域自立支援協議会合同部会を開催致します。
では各部の会議結果について共有したいと思います。
まず初めに私から社会参加・就労支援部会の会議結果について報告します。

（社会参加・就労支援部会長）

超短時間雇用の取り組みには、当事者、市内企業、小金井市、支援者の4者の協力が必ず必要だということを、押さえていく必要があります。

今回は、広報の仕方をどうしていくか、そのマッチング、相談を受けるセンター、それらを集約するセンターをどう考えていくかということをお話しさせていただきました。

広報の仕方としては、講演会があがりました。障害者週間で行うといいのではないかという話があり、内容として成功事例を出してもらいモデル化をしていく。当事者セミナーのような、当事者から話を聞く機会を設けた方がいいのではないか、障がい者を雇っている企業からお話を聞く講演会を設けるのもいいのではないかという話をいただきました。また、静岡のNPOで就労支援ネットワークというのがありますが、そういうところに話を聞く、精力的にやられている世田谷区や品川区から体験談を聞いてみるのもひとつの手だという意見もいただきました。

それから、社会福祉協議会が行っている若者支援とか就労準備は、ひきこもりとの関係性のなかで行っているところがあり、精神病患者は就労に繋がることが多いので、就労準備はどのようなものを行っているのかという話を聞いていく必要性もあるのではないかというご意見が出ていました。

最後に、SNSを活用した広報をしっかりと考えていけないのではないかという意見がありました。障がい者を含め若い世代は、SNSでいろいろなものを見ているので、そこをしっかりと活用した方がいいのではないか。具体的な話としては、2番目の次第である障がい者サービスの説明に関わりますが、それよりも前に障がい者についての理解がないといけません。障がい者の特性とか、色々な障がいがあることの理解を深めていかないと、最終的に地域共生社会に繋がっていかないということを含めて、特殊なところも説明する必要があるところなのではないかのご意見がありました。

あと、集約するセンターについては、小金井市の考え方ももちろんあるのですが、小金井市はどこまでやるのかによって、センターの規模、やり方だとか全て変わってくるので、どこまで小金井市がやるのかが一番重要であると思われれます。相

談を受け、やっていく中で、マッチングも必要になってくるので、どれくらいの規模で行うかが重要になってきます。センターとして、本人、当事者のしっかりとした意思確認ができるようなアンケートの実施をしていただきたいと思います。今、自立支援協議会の中でやることもできるし、センター化をしてからセンターの中でやることもできるのではないかという話をさせていただきました。取り組み方としてはこのようになっています。

参考資料に研究費用と書いてあるのは、どこかのセンターのご紹介をいただきました。そこが委託ではなく研究費用として出ています。その中で、センターとしてやっているという話もありますが、その受け手はどうだろうという疑問があがっています。

来年の就労支援部会としては、4月以降は工賃について協議していく予定ですが、超短時間雇用についてはまだ話が継続しそうなので、4月以降もプラスαとして話すかどうかを次回3月の時に話ができればという状況です。以上簡単ですが報告です。

事務局から補足あれば、お願いします。

(事務局)

ございません。

(会長)

ありがとうございます。それでは続いて、相談支援部会から会議結果をお願いいたします。

(相談支援部会長)

相談支援部会は本日は事例検討ということで、地域生活支援センターの委員に事例を出していただいて検討いたしました。当日になったのですけれども、レジュメとしてまとめてくださっています。なので、こちらをもとにケース概要を共有しまして、それぞれ質問ですとか、その質問への意見ですとか、いろいろなことを発言していただいたところです。

相談で入っていらっしゃるケースということで、今入院中なのですけれども、地域生活に移行するというか、退院するにあたって、どのような生活の仕方がいいのだろうかということが中心でした。ですが、ご家族との関係ですとか、そういう家族と一緒にいたいという気持ちと、いない方が安定するのではないかと、迷いがあります。どのような生活がいいのだろうかという、どちらかという、どんなサービスがいいのだろうかという。サービス担当の相談員の意見、ということも多少あったと思いますけれども、委員の方それぞれが素直に感じる感想を

伝えあいました。やはり家族であるから一緒にいたい気持ちというものは変わらないのではないかと、とても大変でご家族としての負担も大きいとか、本当に基本的な素直に感じる感想ですとかご意見も出ました。またいろいろなサービスについての考え方の意見を出していただいたりして、提出委員さんだけではなく、参加した人たちもまた自分たちのケースですとか、そういった参考になったかなと思っております。

2人お休みされていたので、立場がやや限られてしまったかとも思いますが、それぞれ勉強になったかと思っております。

またこういう形でできたらなとも思うのですが、やはりそんなにたくさん人数がないのと、相談支援部会の委員ではあるのですが、相談員として働いているわけではない方もいらっしゃるので、ケースを出すのも、ひと巡りしてみてもまた今後どうなるのかなというところです。

何か補足はありますか。

(事務局)

ございません。

(会長)

はい、ありがとうございました。

では続いて障害者支援施設検討部会から会議結果をお願いいたします。

(障害者支援施設検討部会長)

1月14日と15日の2班に分けて、小平福祉園の見学に行きました。まずはその感想をそれぞれ伝えあいました。私と2日目に一緒に行った事務局の方が、たくさん写真を撮ってくださっていました。その写真をスライドにしてまとめて、説明してくださいました。なので、今までになくそれぞれの委員の意見が一番出たと思われる会になりました。入所施設についてイメージが共有できていない中、手をつなぐ親の会からの委員と障害福祉サービス事業所からの委員が中心になっていたというのが今までのことでした。けれど、先週の話なので、それぞれ小平福祉園に見学した素朴な感想を言い合っているなという印象を受けました。それを受けてアンケートを予定しているのですが、その項目について意見をいただきました。もう1回3月の専門部会で検討したいと思っております。小平福祉園で行っている、入所施設だけでなく、放課後等デイサービス、児童発達支援とかいろいろ印象に残っている方が、私も含めてたくさんいました。どこまでも広がっていくような感じですが、今は可能性があればいいかなと思いつながりながら話を聞いていました。補足あればお願いします。

(事務局)

部会の報告とは別に、私の方から報告したいことがあります。次の全体会議で皆さんに報告しようと思っっていることですが、ガソリン費と福祉タクシーの話を第3回全体会で協議していただきましたけれども、少なくとも来年度からの開始というのは、見送ることになりました。事前に報告を想定していれば、全部会で報告するところでしたが、急遽その場で報告することになりましたので、次の全体会で皆さんには共有いたします。

(会長)

はい、ありがとうございました。
補足がある方はいらっしゃいますか。

(事務局)

ございません。

(会長)

続きまして、その他です。委員さんから何かあれば。よろしいですか。
事務局の方。

(事務局)

ございません。

(会長)

はい、ありがとうございます。
なければ、共有ができたので、本日の合同部会はこれで終了したいと思います。
皆様、お疲れ様でした。